

鹿児島県漁海況週報

令和元年5月9日発行(5月2日～5月8日)
第2803報【旧暦:3月28日～4月4日/月齢26.8～3.2/潮汐:中潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、5月8日現在、屋久島御崎の北8.7マイル付近にあり、接岸している。

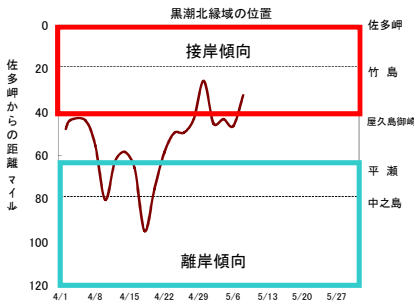
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、5月8日現在、23マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して中之島で0.4℃降温し、与路島で変わらず、その他の海域で0.2～2.3℃昇温した。

平年比較では、屋久島御崎で“著しく高め”、黒潮流域、与論で“かなり高め”、中之島、甬海峡で“平年並”、その他の海域で“やや高め”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	26.1	+0.2	+1.0	かなり高め
鹿児島	20.6	+1.5	+0.8	やや高め
佐多岬	21.6	+2.3	+0.9	やや高め
竹島	22.9	+0.9	+1.0	やや高め
屋久島御崎	25.4	+0.2	+2.3	著しく高め
中之島	24.9	-0.4	+0.3	平年並
笠利崎	24.0	+0.2	+0.7	やや高め
与路島	23.7	+0.0	+0.8	やや高め
与論	24.2	+0.5	+1.0	かなり高め
甬海峡	20.3	+1.1	+0.3	平年並

鹿児島一那覇定期客船観測は5/6～9
串木野一甬定期客船観測は5/8

【漁況】

○定置網

甬島海域では、週計でマナ(500～600g)が100kg、イナダイ(0.6～1.2kg)が100kgの入網。西薩南部海域では、マサハ(500g)が3～6ト/日、ゴマサハ(500g)が1～2ト/日、カンパチ(1～1.5kg)が130尾/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、1日のみカンパチ(2.5～4kg)が50尾、ハツオ(1.5～2kg)が80尾/日の入網。大隅半島東部海域では、週計で31統がマアジ小、シラ、カクチイワシ主体に75トの入網。志布志湾南部海域では、週計でカクチイワシ、マアジ、ブリ主体に11.7トの入網。熊毛海域では1日のみキハダ(4～5kg)が60尾の入網。

○キビナゴ刺網

甬島海域では、6～10箱/隻・日の漁。西薩南部海域では10～40箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、1日のみ25箱/隻の漁。

○パッチ網

西薩海域では製品で2トの漁。大隅東部海域では製品で7トの入札があった。

(まき網、棒受網、カツオ単釣の漁況は下記の表に記載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2755報)

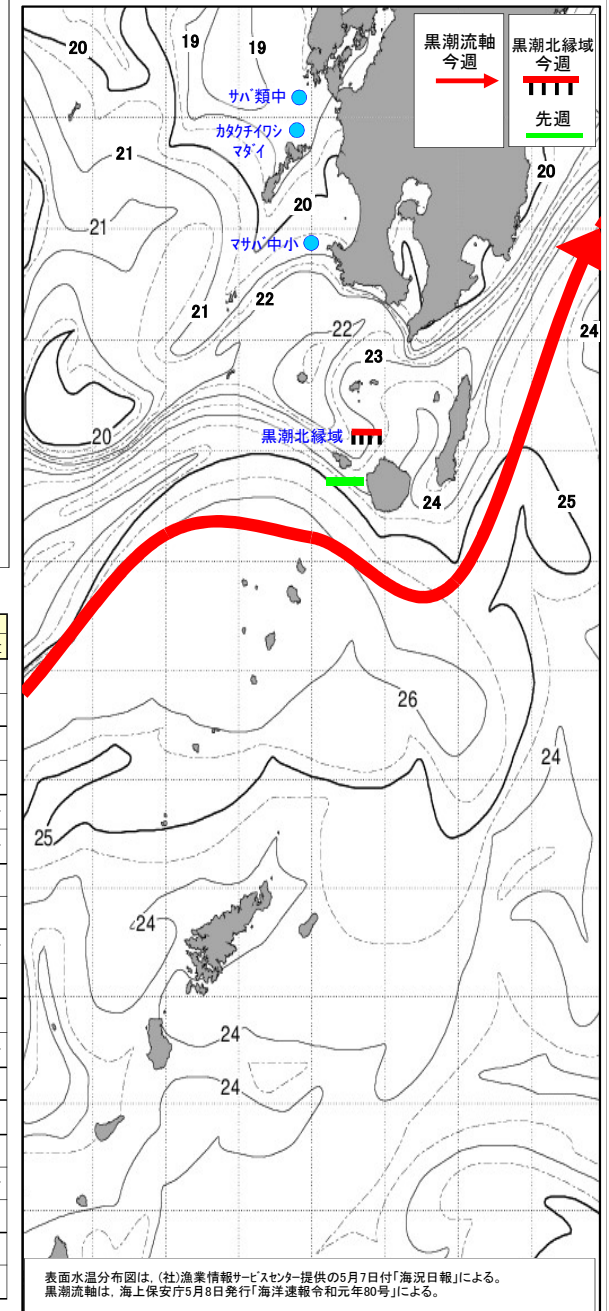
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量
旋網	阿久根	大	3	98	縄瀬 牛深沖	32.8	1	2	5	104
		中	2	34	縄瀬	17.2	6	58	22	209
	枕崎	大	0	—		—	4	279	3	125
		中	5	149	野間池沖	29.8	13	618	11	425
	内之浦	中	0	—		—	0	—	0	—
	山川	中	0	—		—	0	—	0	—
	計	大	3	98		32.8	5	281	8	229
中	7	183		26.2	19	676	33	634		
東海旋網	阿久根	0	—		—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—		—	0	—	2	219	
棒受網	阿久根	11	13	阿久根沖 長島	1.2	15	11	36	24	
	内之浦	0	—		—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	31	75		2.4	51	75	52	54	
刺網	阿久根	48	7	甬 長島 阿久根沖 牛深沖	0.1	54	7	171	37	
カツオ単釣	枕崎	大	0	—		—	0	—	1	65
		小	0	—		—	0	—	0	—
	海旋	0	—		—	0	—	2	804	
海外旋網	山川	中	2	8		4.2	0	—	4	54
		海旋	1	117		116.5	1	758	2	868

○トビウオロープ曳網

屋久島海域では、中トビを33～45箱/統・日、小トビを1～3箱/統・日、セトビを3～9箱/統・日、青トビを1日のみ2箱/統の漁。

○その他

西薩海域では、刺網でシロキス(60～90g)を10kg/隻・日、コウイカ(1kg)を2～70kg/隻・日の漁。ごち網でマダイ(0.3～3kg)を10～50kg/隻・日、チダイ(300～400g)を10～30kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、底曳網でヒケナカエビを100～200kg/隻・日の漁。一本釣りでアハタ(1kg)を20～40kg/隻・日の漁。志布志湾海域では、刺網でモチ(500～600g)を10kg/隻・日、アオリカ(1～1.5kg)を2～10kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでゴマサハ(600～700g)を10～40尾/隻・日の漁。曳網でハツオ(2～3kg)を20～30kg/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの2～3日操業でソイカ(胴体のみ11kg)を20～70ハイ/隻の漁。延縄の4日操業でムツ(1.5～8kg)を130kg/隻、キンメダイ(1.2～1.5kg)を20～70kg/隻、ナンヨウキンメ(1.2～1.5kg)を50kg/隻の漁。延縄の2日操業でチウオ(1～1.5kg)を20～30kg/隻の漁。一本釣りでチカメキトキ(1～2kg)を20kg/隻・日の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の5月7日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁5月8日発行「海洋通報令和元年00号」による。